

「視覚障害者に対する就労支援活動から考える 眼科医・視能訓練士への期待」

タートル(認定 NPO 法人視覚障害者の就労を支援する会)

大岡 義博、的場 孝至

認定 NPO 法人視覚障害者の就労を支援する会（通称：タートル、以下、タートル）は、1995 年の発足以来、30 年にわたり、視覚障害者の就労支援に特化した当事者団体として活動を展開してきた。

事務局は東京都内に置いているが、スタッフ（約 30 名）や会員（約 400 名）は全国に点在しており、全国組織として活動している。

多くの眼科医や視能訓練士などの眼科関係者からも多大なご支援をいただいている。

タートルの支援の柱である就労相談では、電話やメール、面談による全国からの個別相談をはじめ、近年はオンラインによる対応も増え、支援体制の幅が広がっている。

2020 年 11 月からは、日本眼科医会様推薦の眼科医にも同席いただくオンラインによる相談会を月に一度開催し、多角的観点で当事者に寄り添う助言を行い、成果を上げている。

今回は前半では、毎月開催しているさまざまなサロンや交流会での視覚障害当事者同士による事例の共有や情報交換、その効果など当事者目線で行っているタートルの活動の特徴を報告する。

後半では、就労に関する個別相談や、日本眼科医会様に協力をいただき実施しているロービジョン就労相談会の内容を具体的事例を通して紹介し、眼科医や視能訓練士との連携の成果などの共有を通して、今後期待したいことや連携の可能性について提案し模索したい。

大岡 義博（おおおか よしひろ）氏 ご略歴

網膜色素変性症、障害者手帳 2 級、現在は中心視野がほんのわずかに残る程度

1970 年生まれ、大阪府出身

1995 年 大学卒業後、製薬会社に MR として入社

2009 年 営業車運転困難となり、営業職から内勤業務へシフトし、経理部、人事部を経て、現在は営業統括部で勤務継続

視覚障害の進行に伴い、パソコンを音声で使用するための在職者訓練や、休職しての職業訓練を受講しながら就労中

2016 年 CDA/キャリアカウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント取得

2017 年 認定 NPO 法人視覚障害者の就労を支援する会（通称：タートル） 運営委員

相談班の一員として、視覚障害当事者からの相談業務を担当、各種イベントの運営にも従事

2025 年 タートル 理事就任

的場 孝至（まとばたかし）氏 ご略歴

先天性の弱視、現在は光覚

地域の学校で学び、大学進学、現在は民間企業で勤務

1973 年生まれ 奈良県出身

1997 年 全国規模の民間企業に入社、現在も同じ会社で就労継続中

弱視として入社し、拡大読書器、拡大ソフトを用いて、営業部門で営業事務全般の業務をするが視力低下が進み、目を使つての業務に困難さを感じる

2006 年 音声ソフトを用いての業務に徐々に切り替え、現在は同部門でエクセルでのデータ集計を行う

支援機器の導入や人的支援などにおいて、その都度会社と交渉、上司や同僚とのコミュニケーションを通じて働くための職場環境を整備

2017 年 認定 NPO 法人視覚障害者の就労を支援する会（通称：タートル） 理事就任

関西地区担当の代表として、相談や各種イベントの企画・運営に従事。